

ひきこもり対策の取組状況について

1 道のひきこもり対策について

(1) ひきこもり対策推進事業

平成 21 年度から「北海道ひきこもり成年相談センター」を設置
(公益財団法人 北海道精神保健推進協会へ委託)

北海道ひきこもり成年相談センター設置運営事業		R2 年度実績
相談支援（電話、来所、メール、訪問） ▶主な内容：コーディネーター配置		2名配置。相談件数 524 件（内訳：電話 121、来所 100、メール 289、訪問等 14）
連携協議会の設置 ▶主な内容：ひきこもり支援者連絡会議		1 回開催（書面）
情報発信 ▶主な内容：リーフレット作成やホームページ利用		ネットワークを構築するため、ホームページにリーフレットや相談先などを掲載
ひきこもり支援関係機関及び市町村への後方支援 ▶主な内容：市町村への学習会・研修会		1 回開催（オンライン）
ひきこもり支援に携わる人材の養成研修事業		R2 年度実績
ひきこもり支援従事者養成研修 ▶主な内容：オンライン研修会を実施		1 回開催（オンライン）
ひきこもりサポーター養成研修 ▶主な内容：オンライン研修会を実施		

(2) 保健所における相談支援

本人や家族等からの相談。家族のグループ支援などの実施。

2 令和3年度新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金について

当交付金を活用し、「令和3年度ひきこもりピアサポーター・オンライン相談支援事業」として石狩市が、ひきこもり状態にある本人やその家族が、支援機関を安心して利用し、それぞれの状況に応じた支援を受けられるよう、SNS やビデオ通話等の利用環境を整備し、オンラインによる本人の居場所づくりやその家族同士の交流の場づくり、当事者（ピアサポーター）等による支援を実施

3 上記以外の取組について

就職氷河期世代支援の推進にあたり、ひきこもり状態にある方など社会参加に向けた支援を必要とする方への自治体における支援体制の構築に向けて、国から市町村において取り組むべき事項（年度内）が示された。

①ひきこもり相談窓口の明確化・周知	} 当課所管
②支援対象者の実態やニーズの把握	
③市町村プラットフォームの設置・運営	

上記①～③の進捗状況を確認し関係課と連携を図るほか、資料を用いて、市町村が取り組むべき事項の実施を促していく。

※ 初めての取組として道内市町村へ令和3年12月20日に「令和3年度精神保健医療業務に係る市町村説明・研修会」を開催し、「ひきこもり支援施策の推進について」説明及び「ひきこもり支援について」講演（北海道ひきこもり成年相談センター）を行った。

<令和3年9月現在のひきこもり支援状況> 道独自調査：令和3年10月25日実施

	ひきこもりの相談窓口の明確化		ひきこもり状態にある方の実態に係る調査
明確化済	7 2 市町村	実施済	2 1 市町村
明確化予定	5 3 市町村	実施予定	3 5 市町村
明確化予定なし	5 3 市町村	実施予定なし	1 2 2 市町村